２０２３年（令和５年）　１月２２日　日曜日

デーリー東北　１３面　掲載

【八学光星―工大一】第１ピリオド６分過ぎ、工大一は中村翔瑛（手前）が決め、２―０とする

工大一、波状攻撃26点

工大一 26（9―10―7―0）0 八学光星

▽得点者【工】中村6、竹島、高橋、澤口4、平井2、佐々木、石倉3、藤田、平、三浦、中川周、千葉、多久井、小笠原2

全国Vへ好発進

地元対決も慢心せず

○…全国制覇を目指す工大一は、危なげない試合運営で2回戦に駒を進めた。澤口輝主将は「立ち上がりから積極的に足を動かし、たくさん点を取ることができた。次に向けて良い流れをつくれたと思う」と手応えをにじませた。

地元の大会でも負けなしの相手との一戦だったが、選手たちに慢心はなかった。FW中村翔瑛が「どんな場面でもシュートを打とうと思っていた」と積極的な姿勢を強調した。

後に先制点をゲット。その後も敵陣深いゾーンでプレー続け、再三シュートを浴びせた。それでも、計6得点の中村は「良い感覚で攻められた分、次に向けて気持ちを切り替えないと」と表情を引き締めた。

2回戦の相手は、前回準V の武修館（北海道）。20歳以下日本代表5人を擁する強豪だけに、澤口主将は「がっちり守り、ロースコアの展開で勝機を見いだしたい」と、展望を描いた。

【八学光星―工大一】第１ピリオド、工大一の猛攻に耐える八学光星の選手（黄色のユニホーム）

光星初戦敗退も

「一番良い試合」

○…八学光星は、同地区の"納対主者"に手も足も出ずに初戦敗退。それでも、主力FWの大鋼太郎は「一番良い試合ができた」と納得の表情を浮かべた。

「最後まで誰一人下を向かなかった。点を取れなかったが、現チームで一番良い流れを持っていかれた」と丸山喜風主将。「せめて一立ち上がりから想定外の猛攻を仕掛けてきた相手に楽しんでプレーできた」と防戦一方となり、「勝いで手が強かった」と振り返った。

【八学光星】
			得	補	反
丸野内公ウィ			0	0	0
山崎龍舞力	FW		0	0	0
荒川	タグ	平田久	0	0	0
小中黒希中佐伯平		米名	0	0	0
		澤三金米山輝古村	1	1	0
		月佐	0	0	0
太井	DF	舘	0	0	0
鮎		田	0	0	0
江岸			0	0	0
000			0	0	0
000			0	0	0
000